

(法第29条)

平成30年度事業報告書

令和元年 5月 31日

1 事業の成果

平成30年度の事業は、科学技術についての講演会開催事業、技術士2次試験口頭試験対策講座、インターネットによる情報発信事業を実施した。

科学技術についての講演会開催事業においては、技術者を含む不特定多数の県民に対して講演会を開催した。1回目は2部構成で行われ、1部では「森林資源と利用 その現況と将来」について、2部では「鉄筋集成材と構法および海外の技術」という内容で講演を行った。2回目はお二人の講師をお招きし「音響解析と動画解析を応用した外壁等の省力打診調査について」についての講演を行った。今季では、昨年に引き続き技術士育成支援事業として県内の技術士拡大を図り、技術者の技術力向上に貢献するために技術士2次試験・口頭試験対策講座を行なった。また、インターネットによる情報発信事業においては、ホームページにより活動状況に関する様々な情報を発信した。

講演会開催に加え以上のような事業を積極的に行うことで、科学技術の専門家集団としての知識とノウハウを駆使したさらなる社会貢献を目指した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
科学技術についての講演会等の開催事業	第1部 演題：「木材資源と利用 工法、その現況と将来」 国内林業の抱える、採算性や生産性などの問題点や森林資源の利用方など現在の林業を取り巻く課題を具体的に提唱。 講師：佐々木 久幸(山佐木材株式会社代表取締役・一級建築士) 主催：NPO法人鹿児島技術士の会	平成30年 6月9日	鹿児島市 勤労者 交流センター	6名	不特定多数 の県民17名	33,085 円
	第2部 演題：「鉄筋集成材と構 法および海外の技術」 新しい木造建築の可能性を広げる技術として鉄筋集成材を紹介。 講師：塩屋 晋一(鹿児島大学理工学域工学系教授) 主催：NPO法人鹿児島技術士の会					

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
科学技術についての講演会等の開催事業	演題:「音響解析と動画解析を応用した外壁等の省力打診調査について」建物の外壁診断の義務化を受けツールやシステムの開発が行われつつあり、それらの具体的な仕組みを交えながら、今後の実用化に向けての展望や課題などを含め解説。 講師:塩屋 晋一(鹿児島大学理工学域工学系教授) 講師:鹿島 雅之(鹿児島大学理工学域工学系助教)主催:NPO法人鹿児島	平成30年 9月8日	鹿児島市 勤労者 交流センター	9名	不特定多数 の県民19名	25,390 円
技術者キャリア形成(I PD・C PD)支援事業	県内技術士の増大と県内の技術レベルアップを図るために技術士二次試験受験申込説明会や受験のための勉強会、受験講座を開催	平成30年 11月17日	鹿児島市 勤労者 交流センター	7人	技術士2次 試験受験者 6人	18,960 円
インターネットによる情報発信事業	NPO法人鹿児島技術士の会のホームページを活用した不特定多数の県民に対する科学技術情報の発信や建設新聞・南日本新聞への講演会案内	平成30年 6月1日 ～ 令和元年 5月31日	—	—	—	16,793 円
環境保全における科学技術分野での調査研究(環境部会)	エネルギー問題を議題とした勉強会の実施とそれに関連したバイナリー発電の現状についての意見交換	休止中	—	—	—	0 円
環境保全における科学技術分野での調査研究(第四部会)	地質学上の鹿児島の歴史において小中学生や地域住民に対してビジュアル的に提示できる教材として「鹿児島の地質を学ぶ」アニメ制作の勉強会の実施	休止中	—	—	—	0 円
まちづくりに関する支援活動事業	まちづくりに関する支援を行う活動。	休止中	—	—	—	0 円
災害発生に伴う支援活動事業	災害発生に伴う支援を行う活動。	休止中	—	—	—	0 円
科学技術についての支援協力事業	科学技術についての支援協力を行なう活動。	休止中	—	—	—	0 円
理事会	平成30年度第1回理事会	平成30年 8月4日	新留土木 3階 会議室	8名	—	0 円
総会	平成30年度通常総会	平成30年 8月24日	新留土木 3階 会議室	20名	—	0 円